

Nexus 4005I での TACACS+ の設定例

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[手順ごとの説明](#)

[TACACS+ CLI の設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Nexus 4000 シリーズ スイッチに Terminal Access Controller Access Control System (TACACS+) を設定する方法を説明します。Nexus 4000 シリーズでの TACACS+ 認証は、Cisco Catalyst スイッチの場合と少し異なります。

前提条件

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。[Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Fundamentals コマンド](#)。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Nexus 4005I スイッチ
- Cisco Secure Access Control Server (ACS) 5.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項の設定例では、1 台の Nexus 4005I スイッチと 1 台の TACACS+ サーバを設定する方法を説明します。

手順ごとの説明

Nexus スイッチおよび TACACS+ サーバを設定するには、次の手順を実行します。

1. TACACS+ プロトコル機能を有効にします。ACS サーバの IP アドレスに事前共有キーが設定されている必要があります。ACS サーバが複数存在する場合は、両方のホストを設定する必要があります。
2. AAA の概念および AAA サーバグループを有効にします。この設定例では、AAA グループの名前は「ACS」です。

TACACS+ CLI の設定

```
ASA

!--- Enable TACACS+ on the device. feature tacacs+
tacacs-server host 10.0.0.1 key 7 Cisco tacacs-server
host 10.0.0.2 key 7 Cisco tacacs-server directed-request
!--- Provide the name of your ACS server. aaa group
server tacacs+ ACS
!--- Mention the IP address of the tacacs-servers !---
referred to in the "tacacs-server host" command. server
10.0.0.1 server 10.0.0.2 !--- Telnet and ssh sessions.
aaa authentication login default group ACS local !---
Console sessions. aaa authentication login console group
ACS local !--- Accounting command. aaa accounting
default group ACS
```

注：Nexus 4000シリーズとACSサーバ間の認証には、ACSサーバで同じ事前共有キー「Cisco」を使用します。

注：TACACS+サーバがダウンしている場合は、スイッチでユーザ名とパスワードを設定することで、ローカル認証にフォールバックできます。

Nexus オペレーティング システムでは、特権レベルという概念の代わりにロールという概念を使用します。デフォルトでは、*network-operator* ロールが割り当てられます。ユーザにフル権限を付与するには、ユーザに *network-admin* ロールを割り当てる必要があります。ユーザがログインするときに属性を割り当てるように TACACS サーバを設定する必要があります。TACACS+ の場合は、元の値 `roles="roleA"` の TACACS カスタム属性を渡します。完全なアクセス権を持つユーザについては、次の設定を使用します。 `cisco-av-pair*shell:roles="network-admin"`

```
cisco-av-pair*shell:roles="network-admin" (The * makes it optional)
```

```
shell:roles="network-admin"
```

確認

TACACS+ サーバの設定を確認するには、この項のコマンドを使用します。

- `show tacacs-server` : TACACS+ サーバ設定が表示されます。
- `show aaa authentication [login {error-enable | mschap}]` : 設定されている認証情報を表示します。

[アウトプット インタープリタ ツール \(登録ユーザ専用\) \(OIT\)](#) は、特定の `show` コマンドをサポートします。OIT を使用して、`show` コマンドの出力の分析を表示します。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [AAA の設定](#)
- [TACACS+ の設定](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)